



1年を振り返って

倉敷支援学校の創立60周年を記念して、なかよし作品展にかわいいパースデーケーキが飾られました。60歳は人間でいう還暦。たくさんの人とのつながりの中で、過去から学んだことを未来に生かしながら歩みを進めています。



今年度は運動会や遠足や校外学習などの様々な行事や学校教育活動の中で、子どもたちの笑顔があふれる1年となりました。特に、「夏祭り」の代わりとして企画された「ミニきらりん」。子どもたちが安心して楽しめるようにと、保護者の目線で細やかに配慮されたゲームやお菓子釣りのコーナーを用意していただきました。子どもたちをとおしてPTAの方々ともつながっていることを、本当に心強く感じました。高等部は、作業学習で作製した製品を小中学部の買い物学習で販売しました。目を輝かせながら買い物をする下級生を、温かく見守る高等部の生徒たち。また、高等部の「クリーン班」の清掃作業見学では、驚きも感心もある後輩たちの表情を少し誇らしげに見る生徒たち。子どもたちどうしのつながりも実感しました。

さらに、今年度は、学校評議員会が「学校運営協議会」へと形を変え、より地域の方や子どもたちに関わる多方面の関係機関の方とつながることができる体制となりました。評議員の方々としっかりと手を携えて、子どもたちが安心して学び、成長できる環境を整えていこうと考えています。また、高等部の生徒が地域の方と共に校内の草刈りや水槽清掃などを行った活動に対し、倉敷市から「よい子強い子」の表彰をさせていただいたことも、つながりの成果だと考えています。

ホームページのブログでは、本校の学校生活の様々な場面をお伝えしています。友達と協力しながら挑戦する子どもたちの姿や、新しいことに会って輝く表情をとおして保護者の皆様とのつながりを深めていきたいと思っています。これからも、子どもたち一人一人の可能性を信じ、温かく見守りながら、笑顔あふれる学校目指してよりよい学校作りに励んで参ります。

もうすぐ、令和6年度が終わりをむかえます。子どもたちを常に中心に据え、できることを一つでも増やしていこうと日々奮闘している先生方。その思いを一身に受け、確実に成長を遂げている子どもたち。担任の先生方からの「あの子はこんなこともできるようになったんですよ」「お母さんからこんな嬉しいメッセージをもらったんですよ」などの報告からは、「共に成長した1年」であったことを感じました。

(校長 山田 由美)

各部の卒業生を送る会の様子



小学部



中学部



高等部